



挑戦と  
創造の  
あかし

# TEAM NEXT YONEZAWA



代表取締役社長の久保元洋さん。手に持っている製品が、ふるさと納税で人気の非接触体温計「クイック」(左手)とオゾン発生器「O3スマート」(右手)。

株式会社創成電子(通町2丁目) —  
設計から調達・製造まで  
ワンストップのモノ作り



▲米沢品質向上運動公式ページ

入り口のすぐそばに、時計、医療機器、アワードア関連商品など世界的に有名な国内メーカーの製品がスラリと並んでいました。今回は、電子機器の設計・開発・生産を行う(株)創成電子の久保元洋さんにお話を伺いました。

創業当初はデジタル時計の開発や生産を主にやっていました。1993年には今後のモノ作りを見据え、生産拠点を海外に広げます。2010年には医療機器製造業許可を取得。近年は非接触型体温計も製造しており、純国産品として、ふるさと納税でも非常に人気があります。現在も創業当初から変わらず、色々なメーカーから「こんな商品を作りたい」という相談を受けて、企画・設計段階から検討・提案を行い、共に商品開発をしています。

「製品の『品質、性能、コスト』は設計で決まる」がモットーです。詳しく話を伺いました。

「例えば、部品を一つ減らすだけでもコスト削減になります。また、裏表や左右を逆にしても取り付けられるような部品は、取り付けができないように構造の検討を行い、組み立てミスによる不良品を少なくします。それらは設計段階で対応でき、量産になってからは変更が困難となります。ただ生産の依頼を受けるのではなく、できるだけ設計から開発に関わることで、より良いモノ作りをしています」

今後の目標を伺いました。「今はお客様のブランド商品を生産していますが、今まで培ったノウハウを生かし、まずは小さい規模でいいので自社商品を作り、将来的には創成電子ブランドを確立したいです」

目には見えない技術と経験が、米沢から日本のモノ作りを支えています。

## 「米沢品質向上運動」とは

本市では、挑戦と創造のあかし「米沢品質」をスローガンに掲げ、産品だけでなくサービス・観光・文化・行政など、様々な分野の「挑戦と創造」を喚起し、付加価値を高めていくことを目的に「米沢品質向上運動」を展開しています。本市のブランディングに賛同し、この運動に参加するプレイヤーが「TEAM NEXT YONEZAWA (TNY)」です。(3月14日現在、195の企業・団体・個人が登録)



TEAM NEXT  
YONEZAWA